

私の聖書と私

著者、アーネストエンジェリー牧師

今日の題名は(私の聖書と私)です、私は私の聖書を心から愛しています、神である主は私に素晴らしいメッセージをあなた方のために今日与えてくださいました、私は私の聖書と私という人生を旅する中で多くの難しさ、困難、迫害などに会いましたが、と同時に神の力も私とともにいつもおられました、そのすべての力はイエスキリストの聖なる血を通して神の神性の力の中にとえられ、聖書はそれが神の性質の中にあり、私たちはそれにあずかる者となり、それはまさしくイエスキリストの血そのものの力であると語っています、(ヨハネの福音、1:1)“初めにことばがあった、ことばは神とともにあった、ことばは神であった。”そして神のことばは私たちとともにおられます、そしてその神のことばの中にはいつも神の力があります、人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つのことばによるのです、とある通りです、私は私と聖書の中で旅をするときにいつも私の心の中には神の力と神の愛がわき上がっていました、私の聖書は何冊も使い果たしました、それは私がそれだけ聖書を使っていたからです、私はどれだけ神のみことばを勉強しても満足しませんでした、私は人を助けるためにこのみことばがどれだけ必要であるかを知っていたからです、イエスキリストは言われました、みことばを知りなさい、そして真理を知りなさい、そしてあなたは自由になる、イエスを知りなさい、私を知りなさいと言われたのです、その通りあなたはイエスキリストを学んでいます、私もイエスキリストを学んでいます、どれだけ私がイエスを学んでも充分ではありません、決してそれは充分ではありません、それは決して終わることのない旅だからです、私の聖書と私の中で私が旅をするとき聖書はイエスは神の子であり、処女から生まれた人の子であり、神の子であると語ります、何とそれは私にとって素晴らしいみことばでしょうか!しかしながら多くの牧師、教師の人々にとってはその簡単な真理が

開かれていません、現実には彼らは真実の神から遣わされた牧師、教師ではありません、だれであれ処女から生まれたイエスキリストを信じない限り、神の牧師、教師になることはできません、私はいつも、そのことを信じていました、多くの人々はクリスマスの時が来ると自分勝手なやり方でクリスマスを過ごします、それはイエスキリストが処女からお生まれになったことを知っているからです、しかしながら、彼らは真実の天国に行くことはできません、どれだけ彼らが教会に行っていたとしてもイエスキリストの聖なる血を受け入れない限り、彼らは現実に天国に行くことはありません、イエスキリストの聖なる血だけがあなたの罪をきよめるのです、イエスキリストはその血を私たちのために持って来られたのです、イエスキリストがお生まれになった時、彼の体の中には神性の血が流れていました、そしてそれは彼の魂の中にあり、彼は神性の神の子だったので、彼は神が語るように語られ、彼の語られた約束は神からの約束でした、そしてそれらはすべて神性のものでした、彼の祈りは神性の力によって成り立っていて、“天の父よ、あなたはいつも私の言うことを聞いてくださいます。”というように語っていました、彼は私たちに祈りを教え、天の父を私たちに紹介してくださいました、私の聖書が、そのことを私に教えてくださいました、イエスキリストは私たちにイエスの父は私たちの父であると教えてくださいました、彼は私たちが祈るときに“天にいます私たちの父よ、”と祈るように教えられたのです、私は彼イエスが私たちにとって協力者であり、私は彼にあって神の相続人であることを知りました、ということは私たちは神の子イエスと同じ相続人、そして同じ場所にいることを意味しています、イエスがお生まれになった時に天使はイエスと名付けるように言われました、なぜなら彼が彼の民を罪から救われるからです、インマヌエル（訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。）私の聖書は神が私とともにおられることを知らせてくださいます、そしてあなたとともにおられるのです、ひょっとするとあなたはそれらのことが理解できないかもわかりませんが、それはおそらくあなたが私のように聖書と長い時間を費やしておられないからかもわかりませんが、あなたの聖書とあなたのことです。

私は聖書をとても大事にする家庭に育ち、それは私たちにとって最も大切なものでした、私はいつも神のことばを敬うこと、そして決して疑うことがないようにと教えられていました、私は敬虔な父と母によって育ち、聖書は神のことばによって語られたと聞かされていたのです、私の家にはいつも聖書があり、それを私たちは神自身のように取り扱っていたのです、神は私たちとともにおられ、何の心配もなく、何の恐れもないと聞かされていた、と同時に私たちは小さな子供たちにはいつも神から守ってくださる天使がつかわされていると聞かされていたのです、私が教会でミラクルサービスとして人々の病氣のために祈る時に、いつも私の横に現れて下さる天使に質問をしたことはありませんが、天使が私に啓示してくださることにはいつも驚かされます、人々に何が起き、また何が起きようとしているのか、私にそれを知らせて下さるからです、事実私は天使が現れて下さらない限り、サービスをすなわち人々に対する祈りを始めたことはありません、私の体がどんなに疲れていても、その天使の一つのタッチによって私はそのすばらしい力、元氣を取り戻します、神はそれから、私の眼を使われ、私はただ神が見るものを見ることができ、私の大脳を使われ、さまざまなお話をされます、私の聖書と私、そのことを語っています、私は一度も人生の中で聖書のことばと争ったことはありません、聖書の中には神がつかわされる天使は相続人、すなわち神の子たちと交わられるとあります、私たちが海外で宣教の仕事、ミッションの仕事をするとき、神は多くの天使たちによって私たちをとり囲まれます、その中で私たちは偉大な神のお話を実行に移すのです、素晴らしいことだとは思いませんか、私はその天使たちを心から喜びます、私の記憶の中には私たちの海外のクルセードのミッションの仕事の時に天使たちが姿を現さなかった記憶はありません、また私たちには神からつかわされる天使たちが現れるための準備ができています、そしてその時にはその場所の空気自体が変わっていきます、なぜなら彼らは神の空気、神の存在、そして神性の力をともに持ってくるからです、もしあなたが天使を見ることができるとき、天使の目を見てください、そのすばらしい透き通った目、そして美しい

肌、これらは決して人間のものではありません、白い衣に身をおわせて光輝いています、しかし、彼らは人々が言うように羽根をつけてはいません、なぜ人々は天使たちに羽根があるように語っているのでしょうか、私のサービスの中で天使たちを見たことがある人はわかると思いますが、彼らに羽根はついていません、ただ、私が何年も前、昔の教会でサービスをもっていた時、私は私の人生で初めて羽根をつけている天使を見ました、その天使は祭壇のところにいて、私は彼をずっと見つめていたのですが、決して不思議な感覚もなく彼もまた、私がずっと見つめていることに対して違和感を持っていなかったようです、もしあなたが聖書をよく読まれると私たちは天使とともに働き、神は天使を私たちに遣わされ私たちの仕事を助けて下さるように書かれています、私自身は天使とともに働くことに慣れていますが、あなた方も神の仕事をするに際して天使とともに働くことを学ばなくてはなりません、なぜならば、悪魔は天使の偽物を造って私たちを惑わすことをするからです、それらのことに関してあなたはそれらを見分けなければなりません、ある人々は悪魔の偽物にだまされて、神からのメッセージと言いながらも実は悪魔からのメッセージであることに気づいていません、これらのことは私自身が神から直接に学んだことです、神は私の前に天使に見せかけた悪魔を送られ、その悪魔は天使と同じような光を持っていて、少なくとも遠くから見ると見分けがつかないのです、神は様々な悪魔のわざを私の前に示され、私はそれを一つ一つ学ばなくてはならなかったのです、決してそれは気分の良いものではありませんが、確かに私の仕事にとっては必要不可欠なものだったようです、神の賜物の中にある霊を見分ける力を神が私に与えられて以来、私はその必要性を学ばなくてはならなかったのです、私は神から直接にそれらのトレーニングを受けて数カ月がたったのちのことです、神は私の前に信じられないほどに美しい天使、実は悪魔を送られました、その天使は私から遠く離れた所において、少しずつ少しずつ私に近づいて来たのです、その時私は神に「私はこのような天使を今までに見たことがありません。」と尋ねました、それから私にその天使がとても近づいたとこ

ろで、神は悪魔のわざをあばかれました、そしてその姿は信じられないほどに醜いものでした、神は私に初めて悪魔自身を目と目を合わせることでできるほどの近さで明らかにされました、悪魔の醜さは信じがたいほどです、と同時に燃える火の池、そして地獄は確かに現実のものです、これらのことはほんの一部の知識です、神である主は私たちにその真理と現実性を示そうとしておられるのです、聖書が語る通り、地獄は現実のものであり、ある金持ちは死んだ後に地獄で目をあけた、と書かれています、私が私の聖書と私の中で旅をするときに、神は私たちのいのちの救いのためにイエスキリストを遣わされたと書かれています、神はその救いを天から私たちに送られたのです、私の聖書は神の知恵と神の知識を教えています、イエスキリストは12歳の時にすでに大変な知識と知恵を持っていました、またその当時の知識人たちは彼の知識に驚いたと書かれています、イエスキリストこそが神の子であり、私たちにそのいのちの道を示されました、だれも彼を欺くことはできませんでした、しかし悪魔はイエスが初めて40日の断食をしたときにそれを試みました、「もしあなたが神の子であるならば、この石がパンになるように命じなさい。」イエスキリストは、その時、悪魔に神が示されることばを語られました、人々の中には神が悪魔に示されることばを語ることをしません、私たちは悪魔を恐れる必要は全くありません、私たちは何も心配することもなく、恐れる必要もありません、このように私の聖書は私に示されています、私は聖書を心から愛します、私はキングジェームスのバージョン、すなわち、そのバージョンの翻訳の聖書を持っています、私はこの聖書を心から愛しています、そしてそのキングジェームスの訳がどのようにして完成されたかを調べてみました、どのように注意深く、神のみこころに忠実であったかを調べました、その当時のことです、キングジェームス王は70人をそれぞれ異なる部屋に入れて、決してお互いが話し合うことがないようにしたうえで、この聖書の訳を完了されたということでした、そしてその時にその70人のお互いの間で一つの間違いも見いだされなかったと聞かされています、素晴らしいことだとは思いませんか！ 私は私の聖書を心から愛しています、そして真理を

愛しています、イエスキリストは聖書の中で「真理があなたを自由にする」と言われています、真理があなたを自由にするのです、イエスキリストは私たちをいやすために来られ、またそして、私たちの罪をあがなうために来られたのです、だれも人間の罪を赦すことはできませんでしたが、イエスだけが神のみこころによって罪を赦すことができたのです、イエスだけがそれを可能にしました、そしてイエスキリストだけが、あの十字架に私たちのために行かれた方です、あなたはあなた自身の聖書を旅する中で、どれだけ、あの十字架に向かってイエスとともに歩かれましたか、私自身はあの十字架に向かってイエスとともに何度も歩きました、そして現実にはイスラエルに旅して、その十字架の山、カルバリの山、ゴルゴタという所に行ってみました、そしてその場所に近いところにイエスキリストが葬られた墓を見ることが出来ます、私が初めてそこに行った時、私は1時間余り、そこにとどまっていました、そしてその扉のところには「彼はよみがえられました、彼はここにはおられません。」と書かれていました、私の心はその言葉を聞く時、喜びおどります、彼はよみがえられました、それから、私は初めて義人のよみがえりとしての私たち自身のよみがえりのことを考えます、イエスのよみがえりとともに多くの義人がよみがえるのです、私の聖書はすばらしく、これらのことを私に現実的に示してくださいます、あなたの聖書はどうですか！ 聖書に対して、あなたは理解しにくい、またはどのようにしてこれらのことを悟ることができるのだろうか！と考えるおられますか、神を待つ者はそれを見出すのです、と書かれています、聖霊が私たちを教える者となられます、神は聖霊を私たちに送られました、あなたは真理を求められますか！ 聖霊を通して真理を学ぶのです、それから神の御前にあなた自身を証しするのです、人々の中にはどれだけ聖書を読んでいるかということをお慢する人がいます、しかし聖書を読むことではなく、聖書を学ぶこと、そして福音を悟ることです、人々の中にはいのちの救いを理解することができない人が多くいます、彼らにとって「あなたは生まれ変わらなければならない」という言葉が理解できないのです、現在のこの世代にも聖書のニコデモと同じ人が多くいます、現実には彼らは生まれ変わりという言葉

の真実の意味がわからないままです、すなわち現実には魂の救いを
受け取っていないということです、人々は聖書は難しく理解しにくいと言いま
す、しかしながら、聖書は現実には難しいものではなく、子供にも分かるように
人の子に与えられたものです、私は子供心にも覚えています、私が2歳から
4歳ぐらいのときにはすでに私は聖書の難しさではなく、聖書の心を理解して
いました、すなわち、神がいるということ、イエスキリストが神の子であるとい
うことです、神は私にそれを簡単に示してくださいました、私が生まれた時、そこ
には天使がいたのです、私は母の胎内にいるときから神に召され、私はこの世
に生まれ、イエスキリストの福音を伝えるように召されていたのです、これは私
に神が明らかにして下さったことです、私が生まれた時、私の母はもう少しで
命を失うところでした、しかし、天使がその部屋にいて私の母を死から救われま
した、神はこの母が私にとってどれだけ重要な存在であるかを知っておられたの
です、私の母は私に対して決して不信仰を語ったことがありませんでした、私の
母は私に対して神に対する信仰を教えてくださいました、例えば私が病気にな
った時、母は私に対して神である主があなただけを必ずいやして下さいます、と
いつもいつも私に信仰を語ってくれていたのです、私にとって教会の牧師さん
の祈りは必要ではありませんでした、なぜなら私は母の祈りを信じていたからで
す、私は子供のころ私の右足に病気を持っていました、もし私に神を信じる信
仰が母を通してなかったら現在の私はまともに歩くことはできなかつたでしょう、
私の母は私に神の約束を教えてくださいました、そして私たちは神に対して約束
を守るべきだとも教えてくださいました、あなたは神に対して約束を守っておられ
ますか！多くの人は神に対して求めることはしても、神に対して誓った約束を
守り続けません、神に対して約束を守ることは心の正直さを意味しています、ま
た正直さのない人は天国に行く道を見いだすことは難しいのです、イエスキ
リストは正直な人でした、聖書はピリピ人への手紙、4章の中で六つのことを考
えるように勧めています、その中には真実なこと、すなわち正直なことが示され
ています、そして清いこと、愛すべきこと、正しいことなどが示されています、私の

聖書と私の旅は続いていきます、私の聖書は私に対していつも私の心の涙をぬぐってくださいます、私は人々に対してそれらのことを求めず、私はそれらを聖書の中、神の愛の中に求めるのです、聖霊がそれを私に示してくださるので、私の聖書と私、すべて私が歩く苦難の道にはイエスの恵みの足跡があり、イエスの血の足跡があるのです、そしてそこをイエスがもはや歩かれたことが示されてあり、神は私をそこに送られた理由があり、そこにはいつも恵みの助けがあり、神はいつも救い出してくださる道も用意されているのです、そしてそのたびに私が大きく、そして強くされていくのです、その道には神の力が用意されていてその道を通して私はもっと多くの人々を救うことができるようになるのです、その道には神の賜物が用意されています、私は一度も神に対して神の賜物をそのギフトを求めたことはありません、しかし、その9つの神の賜物をすべて信じていました、私はそのような神の賜物を受けるとは考えたこともありませんでした、私は神がそのすべての9つの神の賜物を私に与えて下さるなど、もちろん考えたことは一度もありません、しかし何度もの40日の断食を通して、私は知らないうちにそこにたどりついたようです、それはもちろん一つ一つ起きたことです、そして私は一つのことを神に求めました、それは聖書に書かれている聖者に与えられた神の信仰のことです、聖書はその信仰を求めるように勧めています、またその為には戦うようにも書かれています、そして神は私をヨブ記に導かれました、神は私にそこを通して金が作られるように私を作ることを示され、どのようなことが起きても神の目が私に注がれていることを示してくださいました、私はその道を本当には理解していなかったのです、しかし私は神に対して進み続けることをやめず、その信仰のために戦うことを告白しました、私の人生をささげること私はその必要性とそれを持たなくてはならないことを知っていました、神の信仰ほどすばらしいものはありません、聖書は私たちに神のいのちの水の上を歩くことを示しています、そこには真実の神の愛、神の信仰、神の恵みがあり、主も私たちとともにいつもおられることを明らかにしておられます、私とともに歩かれ、あなたとともに歩かれるのです、なぜその生きた神があなたに見えないのです

か、ペテロは「もしあなたであれば、私に水の上を歩いてここに来なさいと言ってください」と言いました、そして彼はたしかに水の上を歩いたのです、そののちに彼は疑いました、そして沈んで行ったのです、その時ペテロは助けを求めました、主は彼を助けられたのです、主の救いの手はいつでも私たちの手の届くところにあり、主である神は私たちにそれをいつも示してくださるのです、主の手、そして聖霊の助けはいつも聖書の中にあるのです、私は私の聖書を愛します、これが私の力の土台、私の力の基です、私の知識、そして知恵のわきあがるいのちの泉の土台です、“主により頼め、自分の悟りに頼るな、あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。”と私の聖書は示しています、その通り神である主は私の道をまっすぐにされました、そしていつでも神は私を救い出されるのです、ですから私はいつも神を待ち望みます。聖書は私たちに主を待つ者は鷹のように舞いあがると言われています、その鷹の翼がイスラエル人をエジプトの支配から救い出したのです、私の聖書は海を渡って救われたイスラエル人を示しています、私はそれを疑ったことはありません、私は聖書のすべてを信じています、私はモーセの話も信じています、その話しの中の火の柱のこともすべて信じています、だからこそ神は私に多くの黙示と啓示を与えてくださいます、私は信じてそれらを見るのです、多くの人は見ってから信じようとします、私が初めて火の柱を見たのは他の国で神のために仕事をしていた時です、それはとても大きなスタジアムで多くの人々はその中に入ることができないほどに大変な人々が集まりました、彼らは神の奇跡を見ることを求めていたのです、そして彼らはその奇跡を見る時、彼らはイエスを信じるようになるのです、暗闇の世界から、不信仰の世界から光の世界へ彼らが出てくるとき彼らの魂は救われます、何千という人々の魂が救われます、何年も経った後でもあれほどのイベントはなかったと人々は語っています、アメリカから来たアーネストエンジェリー牧師の行なったミラクルクルセード、1982-3年のことです、彼らは今だにそれを忘れてはいません、神の賜物であるギフトの力は完べきなほどに働いていました、神の力が天からおりて

来たのです、その時の彼らの状態は大変な暗やみに包まれ、多くの人々は悪魔の力に魂をゆだねていました、どれだけの人、そして赤ちゃんまでも悪魔のいけにえとしてささげられていたことでしょう、悪魔の呪いがあるとされていた宮の前に来た時、ある宣教師は私に「決してそこに入ってはいけません、さわってはいけません」と言いました、しかし私はそれらのことを恐れませんでした、なぜなら、私にはイエスの清めの血が注がれているからです、私の聖書がそのことを明らかにしています、神への信仰によって私たちには不思議とするしが伴います、私の名によって悪霊を追い出すとも書かれています、私の名によって人々の上に手を置けば病気はいやされるとも書かれています、神への信仰が病気を癒すのです、私の聖書がそれらを明らかにします、と同時に罪のある者はその者が死ぬとあります、人々はだれも罪から自由になって生きることはできないと言います、だれも罪人は罪から自由になって生きることはできません、また牧師でありながら、それらのことを語る人々は彼自身が罪を持っており、横の扉から天国に入ろうとしているのです、もちろん天国には横の扉はありません、私の聖書はイエスが道であり、イエスが門であると書かれています、そのほかの道はありません、もしあなたが横の扉から天国に入ろうとしているならば、あなたは盗み人であり、強盗であるとも書かれています、私の聖書と私、神は私に素晴らしいビジョンと黙示を与えてくださいます、神の力は私の目を通して人々の魂をも見せてくださいます、そして神は私にいやしの力を見させてくださいます、そして神の創造する力をも見させてくださいます、神は私に肉体の一部を癒し、そして創造する状態をも見させて下さいます、私は小さいころから私の母が神に祈ってくれる時にいつもそれを信じていました、そしてその通り、私は子供のころから神のいやしを奇跡を受けていたのです、健康な体をもつことは本当に素晴らしいことです、ですから私は人々のために愛を持つことができますのです、私は18歳から牧師となり、神のことばを伝えてきました、そして23歳の時に大変な病気になったのです、そして、それから私は自分がこの病気によって死んでいくことを悟り始めました、神はどのように私が祈り求めても答え

てくださいませんでした、ただ私は最後の最後に神が私の命を救ってくださることを知りませんでした、イエスキリストご自身が姿を現わされ私は完全にいやされたのです、私が祈っている時には良くなるどころか、悪くなるばかりでどうしていいのかわかりませんでした、しかし私は必至で信仰にしがみついていたのです、ですから私はそれらのことを通して、多くの人々がどのように苦しんでも信仰を捨てないようにはっきりと言うことができるのです、私はそれらのことを私の人生の中に数えきれないほど見てきました、多くの人々が私が経験したと同じような苦しみを経験して死の扉の前にまで来ます、しかし私は彼らに信仰を捨てないように戦うようにと言うことができるのです、ですから私は医者や病院があきらめても私はあきらめません、私が海外で癒しのサービスをする時、エイズの人やガンの人、不活の病を持った人が多く来ます、そして彼らにとってはこれが最後のチャンスであることを私は知っています、ですから私は必死で神に祈ります、神様、何とかして彼らの病気を癒してあげてください、彼らをこのままで家に帰すことはできません、神はそれらの私の願いを聞いてくださり、エイズがいやされ、ガンがいやされ、不活の病がいやされるのです、ただ信仰によって、ただ信仰によって信じることによってそれが起きるのです、神には何でもできるのですと聖書に書かれています。あなたの病気もいやされるのです、私はこのような経験を通して、もし神が人々を癒されなかったら、そのことの方が私にとってはショックです、神は私に何度も何度も神の奇跡を見せて下さいました、ですから私にとって、それが人々に起きない方がショックなのです、私はいやしを期待します、そして神の奇跡を期待しているのです、私が神に対して話している時、私はそれを期待しているのです、私は神が私のすべての言葉を聞いておられることを知っています、ですから私は遂に神が私を必要とされる時はいつでもあれ、夜中であれ朝の早い時であれ、私は神の声に聞き従います、神が私を必要としておられるときは同時に私も神を必要としているのです、人々の中には神が理解できずに不思議に思える人がいます、しかし私にとっての神は不思議な神ではなく、理解できる理解することのできる神であり、私はその声を知って

います、多くの人の中には神が私にこのように言われたと言いながら、現実にはそれらが神の声ではなく、またそれらのことをすぐに忘れてしまう人々があります、しかし私は神の声を知っています、神は私に長い間話しかけておられ、私もその声を長い間聞きわけてきたからです、私は神の声に対してひとかけらの不信仰もありません、神が、そしてイエスキリストが、そして天使が私に話しかけるとき私はその声を知っています、そしてその時、神が言われることは必ず成就するのです、私の聖書と私は人生の深い谷間を恐れませんが、私は私たちの敵を恐れませんが、迫害されても恐れませんが、なぜなら主であるイエスキリストも迫害され、私たちにその足跡を残されました、ですから私たちは恐れませんが、聖書には“復讐はわたしのすることである。”と書かれています、聖書にはある金持ちが地獄で目を上げると天国の扉の前でラザロを見つけました、生きていた時この金持ちはラザロにひとかけらのパンも与えませんでした、しかしこの地獄の中でその金持ちはラザロに水を求めました、この地獄の中で火の苦しみに少しの水を求めたのです、その通り、地獄にはその火の苦しみがあります、地獄は現実に存在するのです、聖書には(詩篇9:17)“悪者どもはよみに(地獄に)帰って行く、神を忘れたあらゆる国々も”と書かれています、あらゆる民族の国々です、何と悲しいことでしょうか！私の聖書と私、聖書は天国について語り、地獄について語っています、そして聖書は私たち人間がどこから来たか！、はつきりと書かれています、動物からでもなく、サルからでもなく、まさしく神から来たのです、そして神は人の子を神の似姿、神のイメージに創造されたと書かれています、人の子がその神の似姿を悪魔に売り渡したのです、神はアダムとイブをエデンの園から追い出されました、それから何千年もの後に「誰であれ、エデンの園に帰りたい者は来なさい」という良い知らせが来ました、あなたは生まれ変わらなければならないという言葉とともにその良い知らせは十字架を通して宮の中の幕が上から下に真っ二つに破られました、それは神が天から降りてこられたことを意味しています、イエスキリストが来られたのです、そして誰であれ、来る者は来なさいと言われたのです、それと同じです、今日誰

であれ、来る者は来なさいと言われていたのです、私の聖書がそのように語っています、誰であれ、来る者は赦されるのです、あなたがそれを彼に尋ねるならば、彼はあなたの罪を赦して清めてくださいます、もしあなたが本当に心からあなたの罪に対して悲しんでおられるならば主であるイエスは必ずあなたをいやしてくださいます、神があなたを愛しておられます、他の誰よりもイエスを通してあなたを愛しておられるのです、これは真実です、ですから求める者は受け、探す者は見いだすのです、今から祈りに入ります、私の聖書が語っている通り、主である神はあなたがどのような罪人であっても、必ず罪を赦して下さい、罪人の祈りを私とともにしてください、私の後に続いてともに祈って下さい、おお神様、おお神様、私は神に感謝します、私は今日、神のみことば真理を聞きました、私は聖書を学びます、人からではなく私自身で学びます、神が言われたことがどのように正しいか、学びます、私はイエスキリストの聖なる血を信じます、その聖なる血が私のすべての罪を洗い流してくださることを信じます、すべての罪を洗い流してください、すべての罪を清めて下さい、イエスキリスト、私の心の中に入って下さい、来て下さい、イエスキリスト、私の心に来て下さい、もしこの祈りが真実であれば、イエスキリストはあなたの心の中に来て下さいます。

さて、いやしの祈りをします、エイズを病んでいる人、またそのほか不活の病を持っておられる人、主である神はあなたを必ずいやしてくださいます、なぜならば、私はこの聖書を信じているからです、信じる人が病人に手を置けば、必ずいやされると書かれています、さあ、あなたの手をあげて私とともに祈ってください、主である神よ！ たった今私は祈ります、彼らと心を一つにして、イエスの名によって祈ります、エイズの病、不活の病、神であるあなたには何も不可能なことはありません、たった今、私は祈ります、イエスの名によって、いやされなさい、いやされなさい、聖なる血の名によって、イエスの名によって、いやされなさい、神の力がわき出ています、たった今、神の力がわき出ています、うしろの扉を開けて、たった今神を信じて下さい、神の奇跡をたった今受け取

って下さい、しかし一つだけよく覚えていて下さい、あなたはそのためには神のために生きなくてはなりません、神に対して忠実であれば、必ず神の奇跡もあなたのもので、もしあなたに何か起きれば、手紙など書いて知らせて下さい、それではいつもあなたのために祈っています、神の祝福をあなたに。